

税金の無駄使い許さない!

第110号

平成14年3月

再生紙使用

# 都議レポート No.01

事務所 〒155-0033 世田谷区代田5-10-6 イーストコート201

電話・FAX 5431-0633

都議会控室 電話5320-7281 FAX 5388-1829

発行責任者

都議会議員

## 後藤雄一



都議会本会議場の壇上より「高給公務員の公用車乗り回し」の質問中

12,000,000,000,000円

### 都の平成14年度予算 12兆円という伏魔殿

#### 一事が万事だ

都の予算は世田谷区の40倍。しかもその中には23区の税収である固定資産税の1兆円が含まれています。また特別会計は、一般会計の中からプロジェクトごとを分離させた会計の事ですが、19会計もあります。また公営企業会計は営団地下鉄など11の事業会計。仕組みは複雑、都民にはわからない、まさに「お役人の得意な」税金の流れです。

#### 12兆円を使う役人の本質

#### 赤字財政の責任者

12兆円を使うのは役人。である。ただでさえ、高水準の都庁職員の給与。その高い給与をさらに上回る見えにくい「超高給公務員」がいる。「指定職」と言われる高給職員だ。

「指定職」には、特別の給与体系が用意されているが、これは、もはや公務員(都民への奉仕者)の給与ではない。

一般職	5万
公営職員	2万
教育職員	6万
警察職員	4万
消防職員	2万
合計	20万

東京都の職員数は上記通り約20万人。指定職は、20万人のうち60人と云うから超エリートには違いない。しかしそれは、都政赤字の最大の責任者であるということをお忘れは困る。

都職員の通常の給与表は、「行政職、公安職(消防、警察)、教育職(大学)等々」と別れている。ところが指定職は部長職等と年収では2割程度の差であるのに、退職金では一挙に7割増の2千万円以上の差となる特殊な給与表なのだ。(要するに給与の上限を上げるために勝手に口実をもうけ、税金を山分けしているのだ。)



「指定職」は会社にたとえれば、「取締役」だと都は言う。ならば局長連中は都庁の赤字を作った張本人のほず。責任を取るならいざ知らず、高給だけを取り、公用車でを送迎を続けるのは噴飯ものだ。



今日も公用車で「指定職」は「ご出勤」

### 千四百人の都職員定数削減の一方で 政党控室職員が都職員とは!

#### 各党控室の受付を都の職員がやっている

議事堂5階は各党(会派)の控室となつています。広さは所属議員数に応じて決められ、大きな会派の入り口奥には「受付担当の人」がいます。

(ちなみに一人会派は相部屋。4議員で一部屋を共有。面会者が来てもほとんど立ち話し状態。従って一人会派は「控室」などではなくむしろ「倉庫」に近い)

さて大きな会派の「控室」の入り口奥にいる「受付担当の人」。驚いたことに、この方々は都の正規職員(一部は臨時職員含む)だったのです。

都職員 都職員 都職員



#### 都から政党への「派遣職員」

自民党控室	8名
民主党控室	3名
公明党控室	4名
共産党控室	2名
合計	17名

自民党控室8人、民主党控室3人、公明党控室4人、共産党控室2人、(計17人、人件費だけで約8500万円?)。その他の会派には配置されていない。

#### 職員は控室の付随機能?

議会局の説明では、「議員の方には議会活動のために控室を用意している。職員は控室の付随機能として配置している。そして、議会活動を円滑にするため、控室の維持と接遇、議会局との連絡業務を行っている、配置割合は、議員7から8人に職員1人を配置する。」と言っています。「付随機能」……。また「お役人の発想」です。議員の控室で「お茶くみ・雑用」を都職員が公費(税金)で行っている。

東京都は財政難に対し、新年度417名の定数削減をする。議会からはそれでも少ない、という声もあるのに議会自らが都の職員を何の反省もなくタダで使っています。この政党への17名をやめれば定数はさらに減らせるはず。

私は  
行革  
パン屋



都議会に入って、文教委員会に所属することになった。予算委員会や決算委員会は一人会派は入れない。それでも都庁の役人は私の所に膨大な資料を持って説明(講釈)に来る。考えてみれば、都庁は一般職だけに限っても課長は1千3百人もいる。つまり、課長が毎週原稿用紙1枚のレポートを作っても膨大な文書が作成されることになる。実際、控室は膨大な文書の「倉庫」になろうとしている。

さて予算に関して総額12兆円、一般会計だけでも6兆円の規模。役人の説明はよごみない。論理的にはスッキリしているように聞こえる。財政再建に手を打っているようにも見える。

しかし待てよ、だ! 破産寸前の会社(都庁)のトップ(指定職)がいまだに高級黒塗り公用車を乗り回し、民間をはるかに上回る退職金を手にしている。議会も公金をつぎ込む数々の「恩恵」を当然視して省みることもない。(手続を盾にお得意の問題先送りも)

幹部が公用車を乗り回し、議会の控室の付随機能として17人分の人件費が隠されているなど、現場から疑問(証拠)を呈さなければわからないことだ。こんなおかしなことを是正できない6兆円の予算はフィクションに過ぎない。真実は細部に宿る。そして細部を説明できなければ全体もおかしい(無駄使いがある)一事が万事だ。



# ムラ社会の洗礼？ 一人会派を徹底的に叩く都議会

後ろ向きの圧力だけが横行する虚しさ

都議会の構成は一人会派を除けば、国会と似ている。そこで都議会には「次は国会」と考えている輩が多いのか、何かと国会をお手本にする議員が多い。国会こそ、あるべき議会の姿」などと信じて疑わない。しかし、それは大きな「勘違い」だ。国政と地方政治は180度違う。都議会が手掛かりにするなら、むしろ(都支部の)地方議会のはずだ。

議員の仕事は質問をすることだ！

このことを理解していない。当選直後に議会で決めたルールは、一人会派(行革110番)は年4回の本会議で一般質問を行える、というものだった。(因に世田谷区議会も同じ)そこで最初の定例会でルールに従い質問を行った。そこまでは何も起こらなかったが、ある日マスコミが一人会派(4つ)を取

## 1人会派の質問 年間13分で1回

都議会の議会運営委員会は二十七日、理事会を開き、一人会派の本会議の質問時間について、持ち時間を年間で十三分として四回の定例会のうち一回でまとめて質問するよう改めた。一人会派側から「勝手に決められて承服できない」と不満の声が上がっている。

都議会の九会派のうち、1/2の会、行革一〇番、自治市民、市民の党の四会派は議員数が一人。年間の本会議の質問時間を百二十七人の議員一人当たりで換算すると三分から四分になるため、都議選後最初の九月の第三回定例会では、一人会派の質問時間を毎定例会で三分間と決めた。

理事会では「毎回(一人会派が)質問に立つのは議員の公平性から問題」として三分の枠を外した上で年一回とすることにした。1/2の会の柿沢未途氏は「当事者に意見も聞かず、朝令暮改のやり方で腹に据えかねる」と反発している。

都議会がまた変更「勝手な朝令暮改」不満の声も

2001年11月28日東京新聞

議運委の決定取り消し求め提訴  
一人会派名無断変更で後藤都議  
後藤雄一都議は10日、「行革一〇番」という会派名を一方的に「無所属」に変えさせられたのは憲法」として都議会を相手取り、議会運営委員会の決定取り消しなどを求めて東京地裁に提訴した。

訴えによると、議運委は7日、「会派略称について」の通知を出し、慣例的に認められてきた「一人会派を無所属」として扱うことを決めた。後藤都議は「本人の同意もなく、合理的理由もない」と訴えている。

2001年12月11日毎日新聞

なお「行革110番」という会派名は都議会の決定に従い「会派届」を出し、正式に手続きしたもので、勝手に自称しているものではありません。

## 東京都職員給与4%カット継続は当然！ 行革110番も大賛成！ 都職員給与とカット議案

何と年間で340億円だ！

2月20日から始まった議会で、東京都職員給与4%カット問題が、12月議会に続き一歩乱れ。1年間の職員給与を4%カットすると、340億円！一方、都の14年度は2千6百億円の財源不足が予想され、都民に直接関係する使用料・手数料の値上げだ。都の職員だけが「のほほん」。これでは納税者は黙っていないぞ！

以前、行革110番が摘発した、都職員のカラ残業・カラ出張・カラ会議。この不正を職員組合は承知し、恩



恵に預かっていただけではないか！  
民間ではリストラ・失業・倒産・自殺者と四苦八苦！公務員はリストラなし、失業なし、倒産なし、自殺者なし、のほほん！この経済非常事態に自発的に給与のカットを申し出たら如何なものか？行革110番は、職員給与4%カットの継続は当然と考える。(ホームページの都政日記から転載)

### 良いものは良い主義

残念ながら一人会派に提案権はありません。そこで「相乗り」という選択肢になります。今回は自民党の職員給与とカット議案に大賛成。  
行革110番は、行政サービスの受け手である都民が人件費の適正さについて当然コミットできる立場にあると考えます。

さて、人件費は事実上、副知事と組合のボスとの交渉で決まっています。(人事委員会の報告)は統計のマジックに過ぎません)この副知事とボスを指して「労使交渉」というようですが、本当は「同志交渉」なのです。考えてみて下さい！人件費を払っているのは都民の皆さんです。都民こそが事実上の「使用者」なのです。(また今回出される民主党の都議会議員4人削減案にも大賛成。都議会では会派間の対立が激しく政策提案より誰の手柄ということが注目。そんなことに関係なく動けるのが一人会派です。)

### 編集後記

民間はリストラの嵐が吹きまわっています。私も不景気の真っただ中でパン屋をやっています。一人会派の最大の強みは「党議拘束」「会派拘束」がないこと。都議会に送っていただいて、「こういつ、拘束」がいかに普通の感覚をおかしくするか実感しています。

さて、私の場合の交通費は、「明大前 新宿」で、電車賃は往復260円。しかし費用弁償(議員交通費)で支給される額は、1万円。差額の9740円は不当利得。都に返還したくても公職選挙法違反になるので、9740円は法務局に供託していただきます。都議の費用弁償は「交通費実費とする」と条例を変えるべきです。これも私の都議としての主張です。

<http://www.kt.rim.or.jp/goto110/>



## 都政日記公開 インターネット

都政日記の主な内容 私が集めた資料・現場写真をほぼ毎日公開！

**8月** 介護認定・タイムカード・議員の公用車・都に吸い付く公益法人・頭に来る陸運局・ダム・指定職・72台の黒塗りの車・都立病院のレントゲン写真・踊る大走査線・都事務昼飯事件・放置運転免許本部・陸運局の押付け仕事・外部監査報告入手

**9月** 紛失疑惑・学校110番・行革レポート・費用弁償・名誉都民・東京都住宅供給公社・都庁の元凶・母の介護保険・退職金に見る天国・文教委員会での禁煙・指定職・荏原病院のカルテ・第3回定例会・公用車での送迎・公務員退職金の民間比較・交通費・ヤジがひどい本会議・初めての一般質問・公金横領事件・

**10月** 高裁・自宅に郵送・牛肉問題・風俗教師・議会の不思議呆れた民主党・裁判の傍聴席・危機管理・東京国際フォーラム・一等地での借金・写真美術館・風俗と横領・湾岸食堂・アジアの祭典・清掃事業・古紙含有率・タダ貸し・松本市のオペラハウス・防災備蓄食品・清掃工場・観光都市と防災・ネームプレート

**11月** 予算説明・炭疽菌対策マスク・公務員のアルバイト・駐車場公社・疑惑の湾岸土地・予算要望・歴史文化財団・ハツ場ダム・アルファ化米・久留米養護学校・契約違反・修繕計画・給与4%カット・江戸東京博物館・都民住宅・議会運営委員会は支離滅裂・記者会見

**12月** 一人会派いじめ・知事の所信表明・所信表明の修正・外務省の情報公開・暴走する議会運営・会派略称事件を提訴・都議会の申し合わせ？とは・旅費の実態・都立大学改革・風邪・特注カレンダー・委員会ガタガタ・議会運営委員会実況中継・ヤジだらけで聞こえない本会議・予算要望提出・議会のお金の流れ・違法行為・交際費・閑散都議会

### 2002年

**1月** 倒産第三セクター宮崎シーガイア見聞記・川辺川・諫早干拓・公務員の休憩時間・社会保険協会・都議の新聞タダ・都議会のIT・学校給食会・耐寒訓練・予算書の構成・廃棄物処理計画・都営住宅の抽選・どこでも駐車場・監査請求・第2の住宅局・都の財政・

**2月** 高い食材・ディスカウント・沼津にある都立学校・趣味のハム作り・請願のカラクリ・価格表・給与の4%カット大賛成・環境と幼児教育

おねがい  
情報公開は、納税者の権利です。  
より一層情報公開に頑張りますので、賛同  
頂ける皆さまにカンパお願いする次第です。  
郵便振替番号  
00160・8・196925  
加入者名 世田谷行革110番 後藤雄一

